

令和4年5月（第2回）教育委員会 議事録

1 開会及び閉会の日時

令和4年5月20日（金）午後2時～午後4時

2 場所

本庁舎 別館 大ホール

3 出席委員

- ・教育長 松本 謙一
- ・同職務代理者 竹部 俊恵
- ・教育委員 高坂 真理
- ・教育委員 林 紀孝
- ・教育委員 中川日登美

4 説明出席者

- ・教育部長 村上 紀道
- ・教育部次長生涯学習スポーツ課長 鵜野 幸男
- ・教育総務課長 氏家 智伸
- ・こども課長 溝口 早苗
- ・中央図書館副主幹 松井 環
- ・教育センター所長 山田由紀子
- ・高校総体スキー推進室長 平本 光一
- ・教育総務課副参事 吉尾 徹
- ・教育総務課主幹 金谷 諭
- ・教育総務課主幹 保市のり子
- ・教育総務課副主幹 鉢呂 清明

5 傍聴者 なし

6 会議の要旨

午後2時、教育長が開会を宣し、議事に入る。

1 教育長の報告

- ・4月13日（水）北陸3県の若手議員が南砺市視察。その際、令和の教育改革の説明（利賀の山村留学について等）を行った。
- ・5月2日（月）利賀の今後の学校の在り方を検討していくため（義務教育学校、併設型小中一貫校化の検討）、加賀市教育委員会を視察した。
- ・その他、教育長が出席した会議・行事について概要説明があった。

2 前回議事録の承認

全員異議なく承認した。

3 協議事項

- (1) 南砺市奨学資金支援助成金交付要綱制定について
- (2) 南砺市立学校のあり方検討委員会設置要綱の一部改正について
- (3) 南砺市学校職員服務規程の一部改正について
- (4) 南砺市児童生徒家庭通信環境整備補助金交付要綱の一部改正について
- (5) 南砺市SDGs未来都市市民会議の委員推薦について
- (6) 令和4年度令和の教育改革スケジュールについて
 - (1)～(6)について、教育総務課長より説明を行った。
 - (5)について、教育長が竹部委員を推薦し、委員本人より承諾を得た。
- (7) 令和4年度6月補正予算の概要について
各担当課長より説明を行った。

4 報告事項

- (1) 令和3年度3月会議、令和4年度4月会議一般質問等の要旨について各担当課長より説明を行った。
- (2) 令和4年度5月補正予算の概要について中央図書館より説明を行った。
- (3) 南砺市立中・義務教育学校修学旅行日程について教育総務課長より説明を行った。
- (4) 令和4年度南砺市奨学金の貸与について教育総務課長より説明を行った。
- (5) 南砺市民大学講座等の状況について生涯学習スポーツ課長より説明を行った。
- (6) 令和4年度放課後子ども教室・土曜学習推進事業について生涯学習スポーツ課長より説明を行った。
- (7) 南砺市子どもの権利条例づくり事業の進捗状況についてこども課長より説明を行った。
- (8) スクールソーシャルワーカー等の小・中、義務教育学校訪問について教育センター所長より説明を行った。
- (9) 令和3年度南砺市図書館の利用状況について中央図書館より説明を行った。

5 その他

- (1) 第73回常陸宮賜杯中部日本スキー大会、第73回全国高等学校スキー大会準備状況について高校総体スキー推進室長より説明を行った。
- (2) 南砺市立図書館の6月の事業について中央図書館より説明を行った。
- (3) 利賀地域長期山村留学に関するTVでの特集について教育総務課長より説明を行った。その後、特集番組を実際に視聴。

6 今後の日程

次回教育委員会開催（予定）

日時 令和4年7月8日（金）午後2時

場所 本庁舎 別館 大ホール

7 議事

報告事項について

（報告事項（3）について）

- 林 教 育 委 員 修学旅行の行き先は決まっているのか。
- 教育総務課金谷主幹 南砺つばき学舎については、語学研修のために福島に行く予定であり、それ以外の学校については主に関西方面に行く予定である。
- 松 本 教 育 長 修学旅行先について、次回の教育委員会時に各学校の行き先について一覧を示してほしい。

(報告事項(4)について)

- 竹部教育委員 奨学資金貸与応募者が減少しているのは、周知不足以外に考えられる理由はあるのか。
- 氏家教育総務課長 その他の理由については、はっきりと分かってはいないが、コロナの影響もあるため、貸与のニーズ自体は高いと考えている。
- 松本教育長 学校への周知等を徹底し、どれだけ貸与希望者が増えるのかをまずは見て、今後の対応策を考えていきたい。

(報告事項(6)について)

- 竹部教育委員 上平地域・井波地域について、延べ参加人数が他地域と比較してとても多い。参加人数が多い要因は何か。
- 鶴野生涯学習スポーツ課長 他地域と比べ活動回数が多いことが要因として考えられる。この活動回数については、運営主体がこの回数なら開催できると希望したものである。
- 松本教育長 活動回数が少ない地域については、各地域間で活動回数の不平等が生じないように、教育委員会からも活動の促進を呼びかける等の工夫も必要ではないかと思う。

(報告事項(7)について)

- 竹部教育委員 子どもの権利条例について、なぜ南砺市は今この条例づくりに取り組むのか、ということが市民の最も知りたいところだと思う。資料に記載してある回答(案)のように、南砺市が目指す、多様性を認め合い、誰一人取り残さない持続可能なまちづくりを行うという市の目標や、「SDGs未来都市」である南砺市として条例づくりを進めているということを端的に伝えた方が、市民の方も条例策定の意図や市が目指しているものを理解しやすいと思う。
- 高坂教育委員 「条例」や「権利」という言葉を使うことによって、子育ての大変さ等を強く感じてしまう方もいると思う。そのため、南砺市は皆と一緒に協力して楽しみながら子育てを行うことができるまちなのだということも、市民の方に併せてアピールして行ってほしいと思う。
- 中川教育委員 真面目な方ほど、権利条例の内容を見て、「大人が～しなければならない」と感じると思う。お子さんだけでなく、親や祖父母も同じようにこのような権利を持っていることも併せて伝えていく必要があると思う。誰かだけが「～しなければならない」と子育ての窮屈さを感じてしまうのではなく、皆で「大人も子どもも幸せになれるまち」を目指していこうということ、併せて広報していけたら良いと思う。
- 溝口こども課長 子どもの権利条例という言葉やその内容が日本で浸透し

ないという状況の背景には、「大人が～しなければならない」という義務的な面ばかりが伝わっていることが一因として考えられると思う。そのため、「子どもの権利」という名目ではあるが、大人も子どもと同じく幸せになることが、この条例の前提として、「誰一人取り残さない南砺市」を目指す上でも大事なのだということも前面に出していこうと思う。また、条例づくりの目的も、委員の提案の通り、端的に市民の方にお示ししながら進めていこうと思う。

○高坂教育委員 成人式に出席した際、小学校、中学校、高等学校に進学したお子さんについては、市の成人式にほとんど皆と出席しているが、支援学校に進学されたお子さんについては、支援学校で催される成人式に出席している状況を知った。他のお子さんと同じように市の成人式に出席することは、障がいのあるお子さんを持つ保護者の心情的にも難しい状況にあるように思う。このような状況についても、先程説明のあった子どもの権利条例の内容を踏まえると、成人式についても障がいの有無に関わらず、皆で参加しやすいものになればと思う。

○松本教育長 委員のおっしゃられることも、今南砺市が目指す具体的な姿だと思う。子どもの権利条例の視点から、改善できることがないか今後検討していこうと思う。

(報告事項(8)について)

○中川教育委員 こども課や教育総務課、教育センターが連携しながら、様々な視点で子ども達を見て就学支援に繋げることができるのは良いことだと思う。ここ最近の不登校相談や、いおう教室の利用状況に何か特徴はあるか。

○教育センター山田所長 いおう教室は、現在申請者9名でその内1名は自宅からも出られない状況のため、いおう教室の職員が自宅へ直接訪問するアウトリーチを行っている。その他にも、各学校に不登校や教室には入れないが別教室で学習をしている子どもがいる。利用者が増えているかどうかの把握はできていないが、情報が得られた場合には、次回の教育委員会等の機会に報告したい。

○林教育委員 6月中旬から行っている、こども課の保育園、幼稚園訪問については、以前に教育委員も訪問に同行させていただいたことがある。全ての園にとは言わないが、教育委員の同行訪問も検討してもらえたらと思う。

○溝口こども課長 保育園、幼稚園訪問は、こども課職員のほか、保健師等の職員等も同行している。訪問の際の人数が多くなると子ども達が緊張等してしまい、訪問の目的である普段の様子

を見るができないということも考えられるため、教育委員の方の訪問については、この観察訪問とは別の機会を設定したい。

- 松本教育長 各地域の幼稚園、保育園に教育委員1名が訪問するという方法でも良いと思うので、子ども達の現在の様子を委員の方に見てもらうためにも、前向きに検討してほしい。

(報告事項(9)について)

- 林教育委員 中央図書館の入館者数関係で、大体何割の方が実際に本を借りるのかを教えてください。

- 中央図書館松井副主幹 平日と休日別で特徴がある。平日は、じっくりその場で本を読まれる方も多いため、その場で読む方と借りる方がほぼ同じ割合である。休日は、土日は親子で来館される方が多く、借りる方の割合が多いように感じる。

- 林教育委員 図書館には様々な目的で来館される方がいらっしゃると思う。図書館での時間を快適に過ごしてもらえよう、入館者数や貸出冊数等の数値に捉われず、その他の面でもより来館者の満足等を高める取り組み等を行ってほしいと思う。

午後4時、議事が終了したので教育長が閉会を宣した。

令和4年 月 日

南砺市教育委員会
教育長